

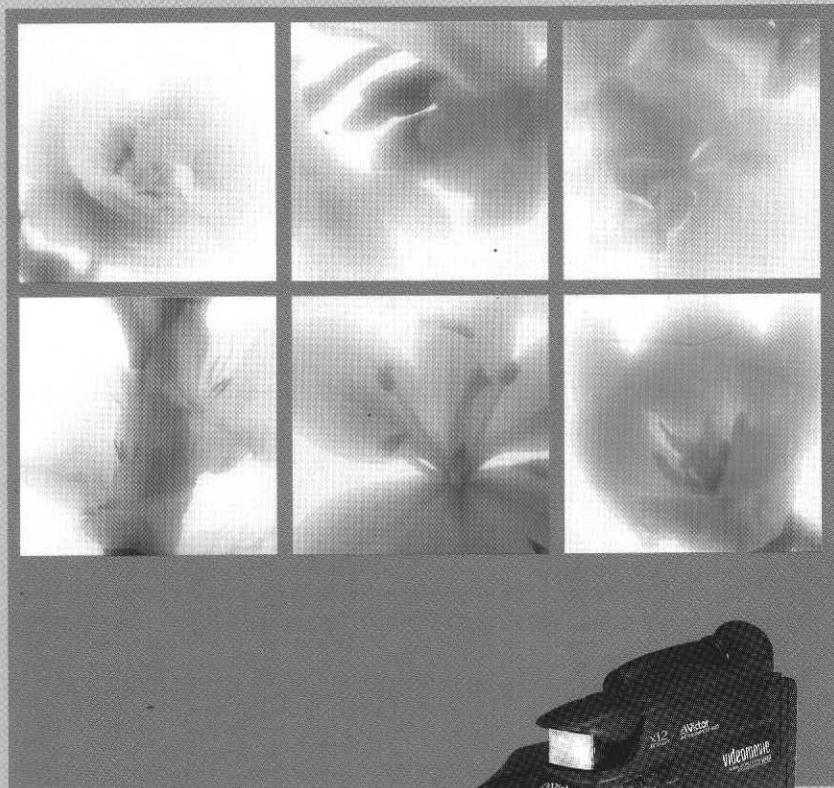


Victor

VHSビデオムービー

GR-AX60/AX80

VHS-C



※写真はGR-AX60です

取扱説明書 お買い上げいただきありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、再読できるよう保管してください。



私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

準備

基本編

応用編

その他



Ni-Cd

リサイクルについて

この製品に使用する電源にはニカド電池があります。

ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

ニカド電池の交換や廃棄の際はリサイクルにご協力ください。

電池の電極間ショート(短絡)による火傷防止のため、リサイクルに出す時には絶縁テープで電極をふさいで下さい。

ご使用前に知っておいてください

- 大切な録画の場合は、必ず事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確かめてください。
- 万一、ムービーおよびテープ等の不具合により、正常に録画、録音や再生できなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。
- このムービーはVHS方式です。コンパクトビデオテープ VHS[®]マークの付いたものをご使用ください。

もくじ

ページ タイトル

5 準備

- 5 バッテリーの充電/取り付け
- 6 テープを入れる
- 7 撮影前に調節する
- 8 リチウム(時計用)電池を入れる
- 9 日時を合わせる

11 撮る

- 11 さあ、カメラ撮りです!
- 12 いろいろな撮影
- 14 再生する

18 テクニック

- 18 映像効果を楽しむ
- 20 ピント合わせ
- 21 白バランス調整
- 22 日時を入れて撮る

24 見る

- 24 ビデオデッキ/テレビにつなぐ
- 26 編集する

28 別売リモコンを使って

- 28 別売リモコンRM-V706を使って

- 30 保証とアフターサービスについて
- 31 故障かな?と思う前に
- 32 海外でお使いになるには
- 33 索引
- 34 各部のなまえ
- 38 主な仕様
- 39 ファインダーの表示

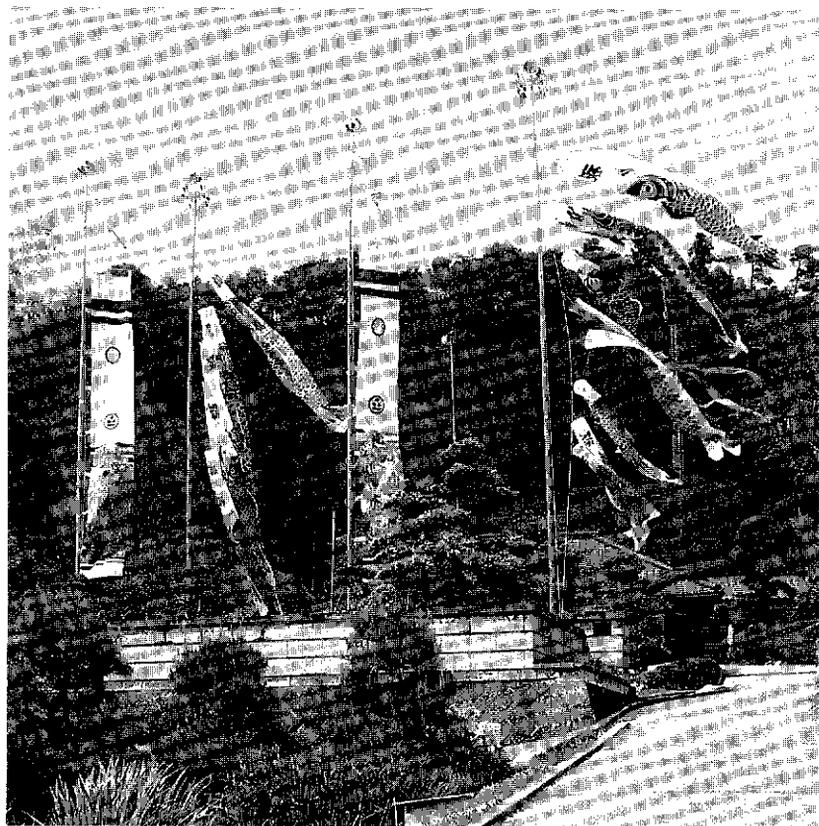
準備

基本編

応用編

その他

準備



この説明書の見方は

(1) ~ (3) が準備と基本的な使い方です。基本編に慣れたら応用編 (4) ~ (29) へと進みます。
この説明書で使用しているイラストはGR-AX60のものです。

ページを探すときは

目次 (3) のタイトルは、主に 'どんな事がしたいか' を表しています。

カタログなどに載っている機能名で探したいときは、索引 (23) でも知ることができます。

説明書に出てくるマークは

☞ は知っていると便利な操作や説明です。

⚠ は正しくお使いいただくためのご注意です。

(100 ページ) はその数のページをあわせてご参照ください。



バッテリーの充電/取り付け

付属のアクセサリキットを使います。バッテリーは出荷時は充電されていません。

バッテリー-BN-V12

家庭用AC100V

ACアダプター-AA-V11

マークを
合わせる

リフレッシュランプ

リフレッシュボタン

充電完了ランプ

充電ランプ

電源ランプ

マークを合わせる

取りはずしボタン

充電する

プラグをコンセントに差し込みバッテリーをカチッと音がするまで差し込む

- 電源ランプと、充電ランプが点灯し充電を始めます。
- 充電ランプが消え、充電完了ランプが点灯したら充電完了です。
- 充電時間/撮影時間は  の主な仕様をご覧ください。
- バッテリーを取り外すときは、取り付けと逆の手順です。
- ACアダプター-AA-V11の取扱説明書を良くご覧ください。

ムービーに取り付ける

マークを合わせバッテリーを矢印方向にカチッと音がするまでスライドさせる

外すには
取りはずしボタンを押しながら取り付けと逆方向にスライドさせる



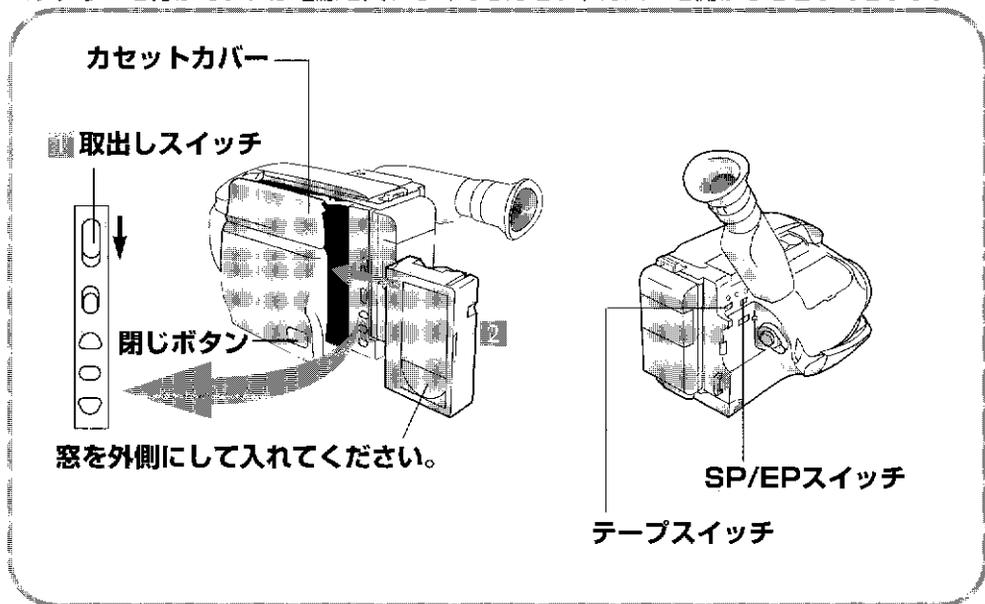
その他の電源

充電したバッテリーの他に、室内ではACアダプター-AA-V11を通して家庭のコンセントから、直接電源を利用できます。また、車ではカーバッテリーチャージャー-BH-V3（別売）で、シガレットソケットからムービーへ電源を送ることができます。詳しくは、AA-V11、BH-V3（別売）の取扱説明書をご覧ください。



テープを入れる

バッテリーを付けていれば電源を入れなくてもカセットカバーを開けることができます。



1 取出しスイッチを矢印の方向に押す

●カセットカバーが開きます。

3 閉じボタンを押して、カセットカバーを閉める

●カチッと音がします。

2 テープを入れる

●奥まで確実に入れてください。



テープ残量表示について

テープを入れる前に、テープスイッチをご使用するテープに合わせる

30分テープの場合 → 30

20分テープの場合 → 20

テープの録画モードについて

●SP (標準モード)

画質と音質を重視するときや、後で編集(ダビング)するときにおすすめします。

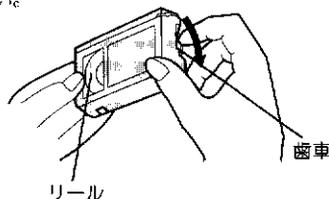
●EP (3倍モード)

テープを経済的に使いたいときにおすすめします。(撮影時間がSP時の3倍になります)標準専用VHSビデオでは再生できませんのでご注意ください



テープのたるみは、テープを傷める原因になります。

ご使用前にリールが一緒に動くまで巻車を矢印方向に回してたるみをなくしてください。またテープの出し入れだけを繰り返さないでください。

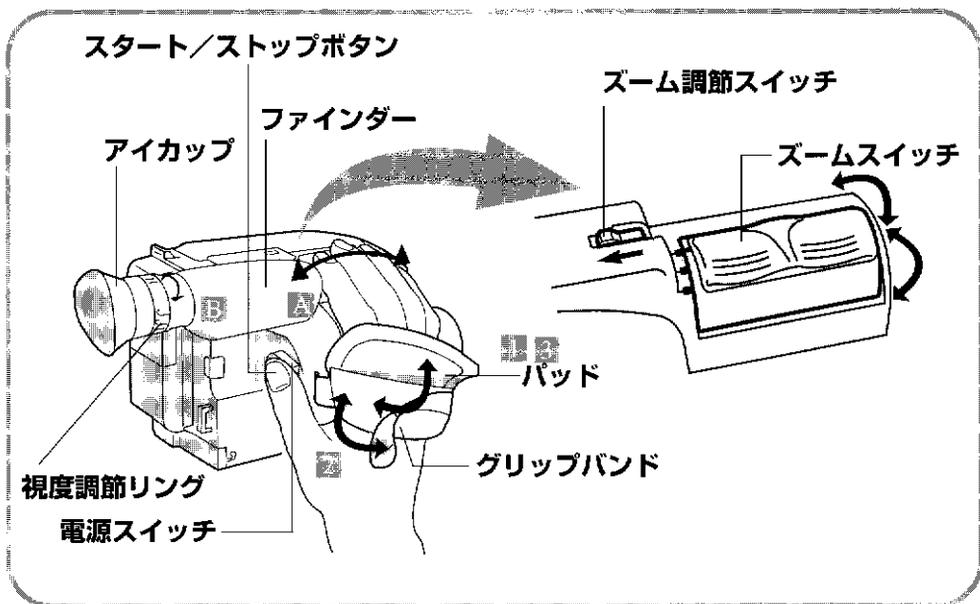


再生画像が乱れる

1本のテープ内でSP/EP(録画モード)を切り替えると、その部分で再生画像が乱れます。



撮影前に調節する



グリップバンドの調節

グリップバンドを調節すると、安定したカメラ撮りができます。

ズームスイッチとスタート/ストップボタンが操作しやすいように指を置いてください。

1 パッドを外す

2 ムービーをしっかり持てるようにグリップバンドを調節する

3 パッドをはり付ける



手の大きさにあわせてズームスイッチを調節できます
ズームスイッチは位置を3段階に調節することができます。
ズーム調節スイッチを矢印の方向に押しながら、ズームスイッチを矢印方向に動かして操作しやすい位置にしてください。

ファインダーの調節

ファインダー内の画面が見やすいようにピント調節します。

A 見やすい角度に調節する

- 180°調節できます。

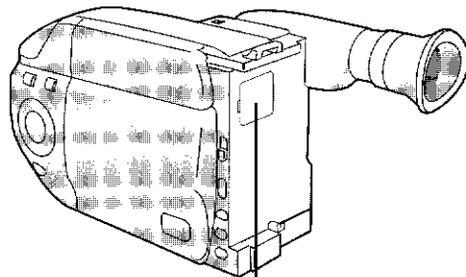
B ファインダー内の画面がハッキリ見えるようにピント調節する

- 電源スイッチを「撮影」にし、視度調節リングを回して調節します。

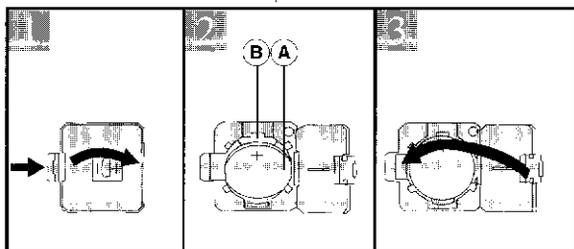


リチウム(時計用)電池を入れる

ムービーの日付、時刻、文字入力 of 記憶を保つために必要です。



電池取り付け部



1 取り付け部のフタを矢印方向に押しながら開ける

●必ず電源（バッテリーなど）を取りはずしてからおこなってください

2 リチウム電池の+側が見えるように入れる

3 フタを矢印方向にしめる



ご注意ください

電池は幼児の手の届かないところに置いてください。万一、のみ込んだ場合には直ちに医師と相談してください。

治療方法についてのお問い合わせは
(財)日本中毒情報センター

つくば中毒110番 TEL 0298-52-9999

大阪中毒110番 TEL 06-871-9999



リチウム電池を取り外す

Ⓐのところを押して取り外してください。取りづらい時は、先の細い金属以外のもの(プラスチックなど)をⒷ(上部の穴)に差し込んで取り出してください。

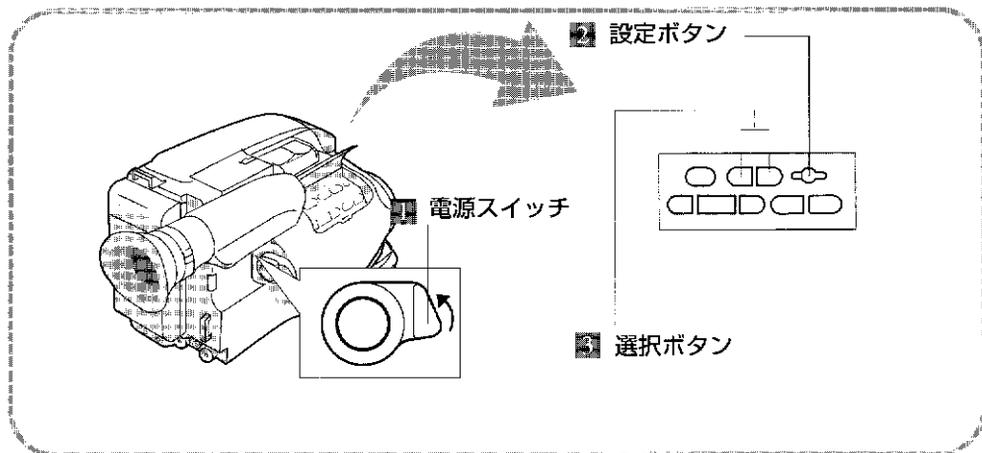
気をつけて

リチウム電池の注意文も良くお読みください。
(必ずお読みくださいシート)



日時を合わせる

日付、時刻を合わせ、撮影中に日時をテープに記録します。



電源スイッチを‘撮影’にする

設定ボタンを押す

- 表示がでて、年が点滅します。



(例えば、現在時刻が1994年10月10日
午後3時15分のとき)

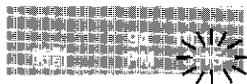
選択ボタンで年を合わせる



設定ボタン

選択ボタン

- 年は西暦下2ケタの数字を合わせます。
(例 1994→94)
- を繰り返し、月→日→時→分まで
合わせます。



- 分を合わせ、設定ボタンを押すと時計が
スタートし、確認のため日付、時刻を表
示したあと、日付表示にかわります。
- AM12:00は午前0時・PM12:00は正
午を表わします。



合わせ直すときは

の操作をして合わせ直します。終了後は確
認のため、日付・時刻を約3秒間表示し、合わせ
る前の表示モードにかわります。

表示を出して撮影するには

ページをご覧ください。



設定したのに記憶されていない

リチウム電池を入れてから始めてください。一度、
合わせると電源（バッテリーなど）を外してもリ
チウム電池で記憶します。

基本



より安定した撮影のためには姿勢が大切です。

誤って大切な記録を消さないために



左手もムービーにそえる

わきをしめる

足は少し開き
しっかり構える

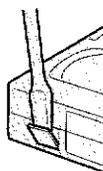
壁や柱に寄りかかり
安定させる



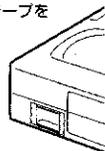
低い位置の撮影



‘ツメ’を折ります。



再び撮影するときは、ツメの部分にセロハンテープを二重に貼ります。



‘ツメ’の部分がスライド式の場合は

誤消去防止用のツメ（フタ）



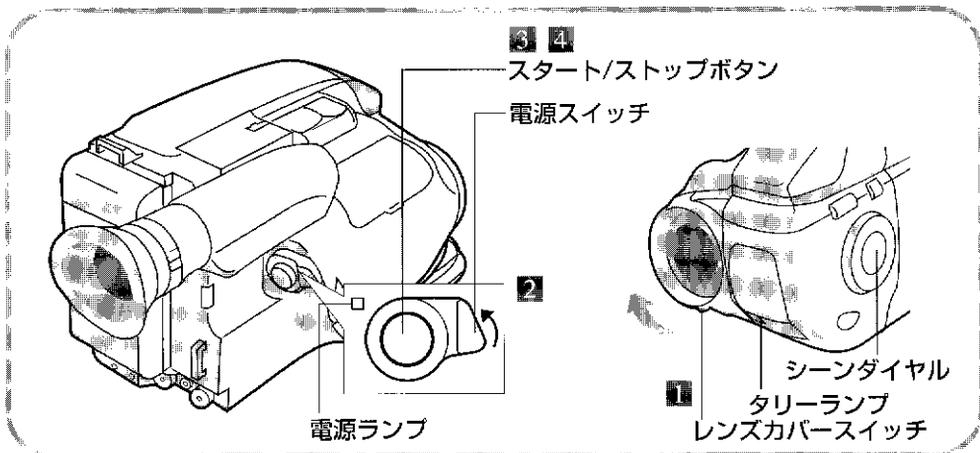
誤消去を防止するときは



撮影するときは



さあ、カメラ撮りです！



準備 (111 ページ～) をしてから撮影します。

1 レンズカバースイッチを矢印方向にスライドさせる

2 電源スイッチを‘撮影’にする

- 電源ランプが点灯し、撮影一時停止になります。(113 ページ)

3 スタート/ストップボタンを押す

- タリーランプが点灯し、撮影が始まります。

4 撮影を中断/終了するときにはスタート/ストップボタンを押す

- 撮影一時停止になります。
- 1 と 2 の操作を繰り返して撮影をおこないます。



シーンダイヤルのロック、解除撮影について
 ‘ロック’：初めての人、お友達に撮ってもらうとき、いろいろな機能のボタンはロックしているので誤って触れても安心です。
 この時使えないボタンは

- | | |
|-----------|------------|
| ・メッセージボタン | ・シネマボタン |
| ・フォーカスボタン | ・フェーダーボタン |
| ・表示切換スイッチ | ・ミバランススイッチ |

‘解除’：さらにいろいろな機能を使いたいときの
 上級者ポジションです。(それぞれのボタンを押さなければロック状態のままです。)

撮影準備中、電源が切れたら

撮影一時停止を約5分以上続けると、節電のため電源が切れます。電源スイッチを‘切’にしてから‘撮影’にすると、再び撮影一時停止になり、次の撮影がきれいにつながります。

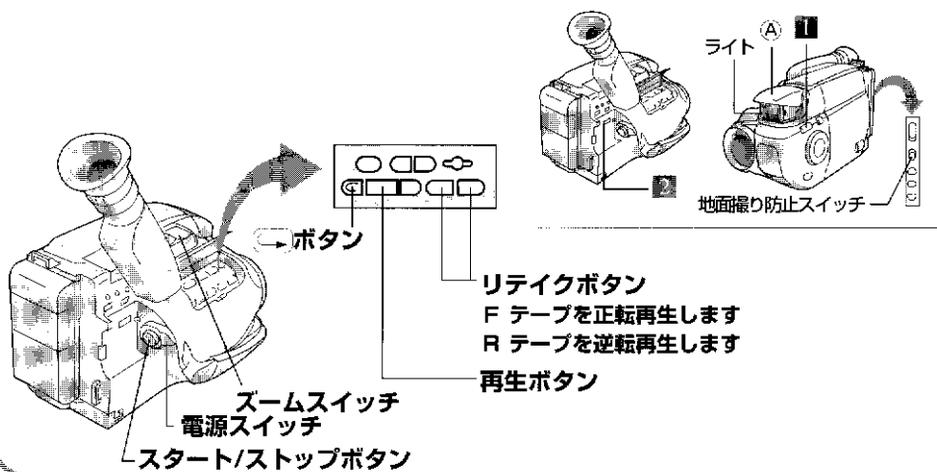
頭出しを簡単にする

日付がかわったとき、テープを入れたあとの最初に録画スタートするとき、インデックスコードを自動的に書き込みます。インデックス機能のついたVHSデッキで、再生時に頭出しを簡単にすることができます。

- INDEX表示が消えたら、書き込み完了です。

いろいろな撮影

ライティング



大きく撮りたいとき

ズームスイッチで被写体のズームアップ/ズームバックができ映像に変化をつけることができます



ズームングのスピードを変える
軽く押すとゆっくり、強く押すと速くなります。

すぐに撮り直したいときは (リテイク)

撮影中失敗したときや、テープ途中から録画するとき、ボタン1つで撮りはじめたいところを探せます。

1 撮影一時停止でリテイク'R'ボタンか'F'ボタンを押し続ける。

- リテイク中、映像が乱れることがありますが故障ではありません。

2 撮り直したいところでボタンから指を離す

- 撮影一時停止に戻ります。



撮影の確認 (クイックレビュー)

撮影一時停止で、リテイクボタンを押すと、最後のシーンを約2秒間再生し撮影の確認ができます。確認が終わるともとの状態に戻ります。

ライティング

被写体が暗いときなどに、ライトで照明することができます。

1 ライトをあける

2 'オート' が '入' か選ぶ

オート：撮影時に被写体が暗い時、自動的にライトを点灯します。

入：常時点灯します。

ライトを消灯するときは \odot を押し、ライトを閉じます

●ランプやバッテリーを長持ちさせるためにも撮影しないときは消灯するよう心がけてください。



点灯中の注意

- 点灯中や消灯直後、ライトは熱くなります。ライトにふれたり、物を近づけたり、水や湿気は避けてください。
- 小さなお子様の目などに、直接ライトの光が入らないよう注意してください。
- ⓧ が表示されていなくても、バッテリーの容量が少なくなっていると、ついたり電源が切れることがあります。
- オートになっているとき
・周りの明るさによっては、ついたり消えたりすることがあります。'入'にして点灯するか、

ライトを閉じて消してください。

- ・スポーツ、スウィング、ポートレートモード (108 ページ) のときはライトがつきやすく、また消えにくくなります。
- ・夜景モード (109 ページ) のときは点灯しません。

ランプの交換

ランプが切れたらお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。ランプの交換については、108 ページをご覧ください。

地面撮りを防止する

撮影中あやまって地面や足を撮ってしまうことを防ぎます。

地面撮り防止スイッチを '入' にする

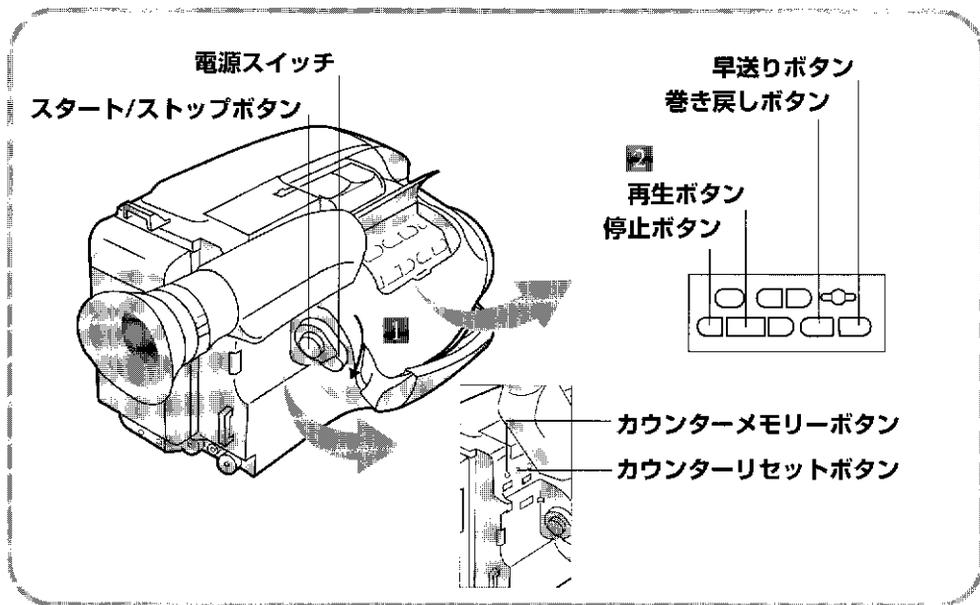


地面撮り防止を '入' にすると

- 通常撮影の水平位置から角度が大きく (約 90度) 変わると自動的に撮影一時停止になります。
- 真下や真上を撮影するときは地面撮り防止スイッチを '切' にします。



再生する



撮影したその場で見る

撮影した映像をファインダー内で見ることができます。



電源スイッチを‘再生’にする



テープを巻戻し、再生ボタンを押す

再生をやめるには停止ボタンを押す



テープの早送り／巻戻し

停止ボタンを押してから早送りボタンまたは巻戻しボタンを軽くポンと押します。

・早送り、巻戻しを素早くしたいときはボタンをしばらく押します。

（このとき、カウンターは---:---になり、次に使うときは0:00:00になります。カウンターメモリーは使えません。）

・テープの最後まで早送りや巻戻しすると自動的に停止します。

早送り／巻戻ししながら見る

●再生中に早送りボタンまたは巻戻しボタンを押しつづけると、高速で再生します。

ボタンから指を離すと通常再生になります。

●ボタンをポンと一度押すと、指を離しても高速再生します。見たいシーンで再生ボタンを押してください。通常再生になります。

再生画を止めて見るには

再生中に一時停止ボタンを押します。再生ボタンで戻ります。一時停止を5分以上続けるとテープ保護のため停止します。

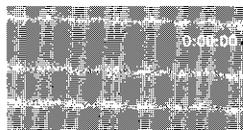


再生中画面にノイズが出てきたら



- ・再生中、トラッキングボタン「←」または「→」で調節する
- ・調節をする前の状態に戻すときは、トラッキング「+」/「-」を同時に押してください。
- ・他のビデオで録画されたテープは十分に調節できないことがあります。

テープの走行量を時間で確認できます。



テープカウンター
時:分:秒

途中で 0:00:00 に戻すにはリセットボタンを押してください。

- カウンター値は無記録部分では変わりません。
- テープの取出しで0:00:00になります。
- 0:00:00を越えて巻戻すと←が表示されます。
- カウンターメモリーしておくとき早送り/巻戻しするとき M 0:00:00の近くで止ります。

自動的にテープを止める (カウンターメモリー)

カウンターリセットボタンを押して、カウンター 0:00:00 にし、カウンターメモリーボタンを押して「M」を表示してください。早送り/巻戻しするとき自動的に停止します。

- 繰り返し見たいはじめの場面付近でカウンターを0:00:00にしておけばその場面を素早く探せて便利です。
- カウンターメモリーをやめるときはカウンターメモリーボタンを押して「M」を消します。



カウンターメモリーがはたらかない

- テープの出し入れをするとカウンターは 0:00:00になってリセットします。
- 早送り/巻戻しボタンを押したとき、カウンターが「---:---」になったらテープを停止させてください。(カウンターが0:00:00になります。) もう一度みはじめたい場所を 0:00:00 にして操作をし直してください。

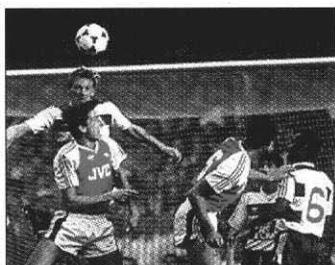
高速再生/静止画再生中、画面にノイズがでた故障ではありません。特に SP (標準) モードの場合はノイズが多くなります。

高速再生/静止画再生中は音声がかみません。

応用



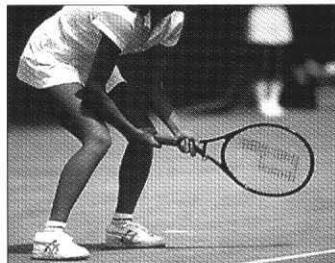
スポーツ



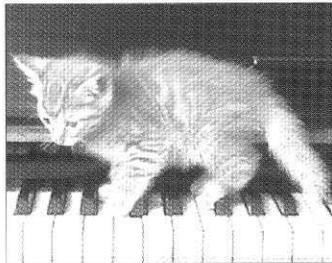
ポートレート



スウィング



ファンタジー



夜景



セピアとシネマモード併用



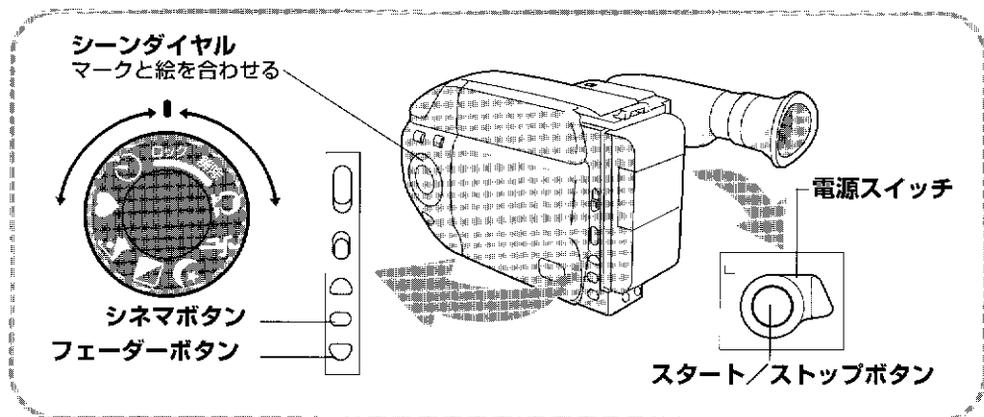
フェードイン/フェードアウト



※このページの写真は、すべて機能をわかりやすくイメージしたもので、実際の映像とは異なります。/GR-AX60のファインダーは白黒です。



映像効果を楽しむ



フェードイン/フェードアウト

真っ白な画面から映像が徐々に現れるフェードイン、映像が徐々に消えて真っ白な画面になるフェードアウト

撮影一時停止でフェーダーボタンを押す



フェードイン/アウトはスタート/ストップボタンのみで使えます。しかし、フェードイン/アウトの最中はスタート/ストップボタンは使えません。

スタート/ストップボタンを押す

- 撮影がスタートし、フェードインが始まります。撮影中にフェーダーボタンを押し、スタート/ストップボタンを押すと、フェードアウトしながら撮影が終わります。

ポートレート

シーンダイヤルをΩにする

- ファインダー内に表示が出て、ポートレート(選んだシーンの設定)になります。やめるにはシーンダイヤルの'解除'か'ロック'をマークと合わせる。



動きの少ない被写体(人物、花など)を中心に撮るとき、望遠側で被写体を大きく撮るときなどに背景をぼかし、被写体を引き立たせるよう撮影できます。



シーンダイヤルを使うとき
シーンダイヤルの他のモードはポートレートの手順と同じ操作をおこなってください。

英文字で表示が出来ます



スポーツ

 運動会など、動きのある被写体を撮るときなどに効果的です。後でスロー再生や静止画再生したとき被写体をブレの少ない映像で楽しめます。(スロー再生、静止画再生機能のついたデッキで再生したときのみできます。)

ファンタジー

 人の顔をアップで撮るときなどに効果的です。霧がかかったような映像で幻想的に撮影することができます。
●回想シーンや夢のシーンを撮るときなどに効果的です。

夜景

 夕日が沈むときや、花火、ネオンサインなどの夜景を撮るとき、ザラザラしないそのままの自然な感じで撮影します。
●ピントは無限遠で固定され、白バランスは  になります。このときピントを手動であわせたり、自動に戻すこともできます (20 ページ)。
また、白バランスをかえることもできます (21 ページ)。

セルフタイマー

 スタート/ストップボタンを押すと“-”が点滅し、約15秒後に撮影を開始します。
●“-”が点滅してからセルフタイマーを解除するには、スタート/ストップボタンを押して他のマークに合わせてください。
●別売のリモコンRM-V706を使えば15秒以外に30秒/1分/5分のセルフタイマーもできます。(28 ページ)

セピア

 白黒(セピア色)で撮影することができます。
●シネマモードと合わせて使うと、古い映画のような雰囲気有一段とお楽しみいただけます。

シネマモード

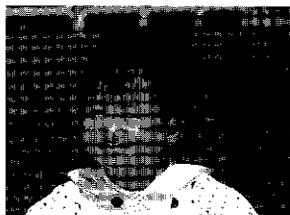
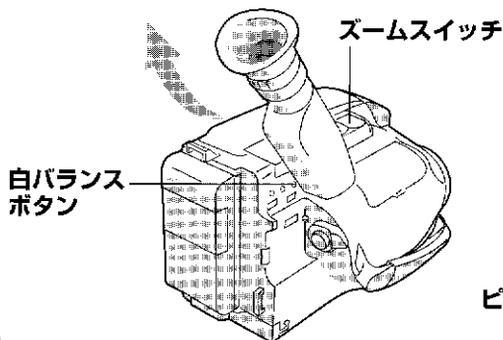
横と縦の比率が16:9のヨコ長画面で、撮影することができます。
シネマボタンを押す
●シネマモードになります。

スウィング

 1/8000秒高速シャッターです。ゴルフスウィングなどかなり動きの速いものを撮り、後でスロー再生や静止画再生したとき被写体をブレの少ない映像で楽しめます。(スロー再生、静止画再生機能のついたデッキで再生したときのみできます。)

ピント合わせ

フォーカスポタン



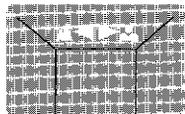
ピント合わせは画面中央でおこないます

約1.5 cm から無限遠まで自動でピントが合います。



次のような撮影条件のときピントが合いにくいことがあります

- ・コントラスト（明暗差）のほとんどない被写体（平らな壁や青空など）
- ・遠方と近距離の被写体が同一内に重なっている場合
- ・暗い場所
- ・こまかいパターン（被写体や同じパターンが規則正しく並んでいる被写体）
- ・ちらつきのある光源（蛍光灯など）のとき



ピントが合わない

- 汚れやつゆつきなどでレンズにくもりがあると正しいピント合わせができません。汚れは柔らかい布などでふき取り、つゆつきは消えるまでまって撮影してください。
- ズームアップ状態でコントラストのほとんどない被写体を撮影すると▲◀▶▲が点滅し、ピント合わせのため自動的にズームバック（広角側）します。



ピントの固定

ピントが合いにくいときや、被写体が画面の中央以外にあるときに使います。

フォーカスポタンを押す

- ピントが固定され▶◀が表示されます。フォーカスポタンを押したままズームボタンを押すと、手動でピントを合わせることもできます。T：遠くのものにピントを合わせたいときに W：近くのものにピントを合わせたいときに
- 手動でピントを合わせるときは、あらかじめ視度調節（設定ページ）をおこなってください。
- 自動に戻すにはもう一度フォーカスポタンを押します。

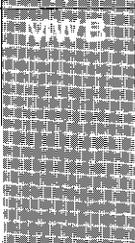
▲ または ▲ が点滅する

ピントが最遠点、最近点になるとファインダー内の▲▲がそれぞれ点滅します。（目安ですので正確なピント合わせは、ファインダー内で確認しておこなってください。）

白バランス調節

通常の撮影では自動的に白バランスを合わせ、自然な色合いに映るようにしていますが色合いをかえて撮影することもできます。

白バランスボタンを押して、照明条件に合わせる

	くもり空や日陰で撮影するとき
	晴れた日に屋外で撮影するとき
	ビデオライトなどで照明するとき
	いろいろな光のあたっているものを撮影するとき 1 'MWB' が表示されるまで白バランスボタンを押す 2 白い紙に向け、フォーカスを固定する (20 ページ) 3 白バランスボタンを押し、'MWB' が点滅したら手を離す ・白バランスはロックされ 'MWB' が表示されます。

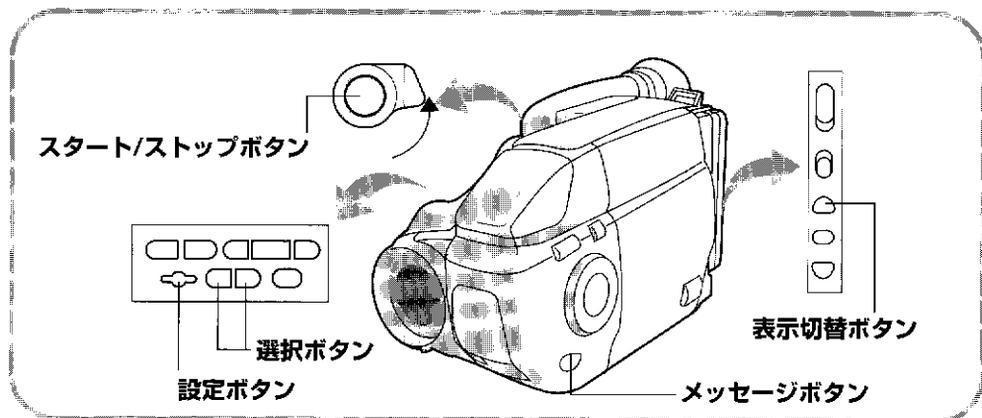
●自動に戻すには、白バランスボタンを押して表示を消してください。



白バランスとは

- 人間の目で見ると同じ色でもビデオカメラで撮ると、照明がロウソクのとくと蛍光灯のとくとでは違った色になります。それを自然な色合いに映るようにする機能です。
- 白バランスをセットするときはカラーテレビに接続して色合いを確認することをおすすめします。
- 白バランスはシーンダイヤルがロックになっているときは、自動しかできません。

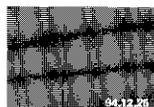
日時を入れて撮る



日時表示はお好みの表示のしかたを選ぶことができます。
またメッセージを入れることもできます。

1 電源スイッチを‘撮影’にする

2 表示切替ボタンを押して表示を選ぶ



日付



オートデート



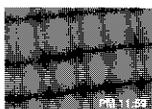
文字入力



オートデート
タイトラー



オンスクリーン



時刻



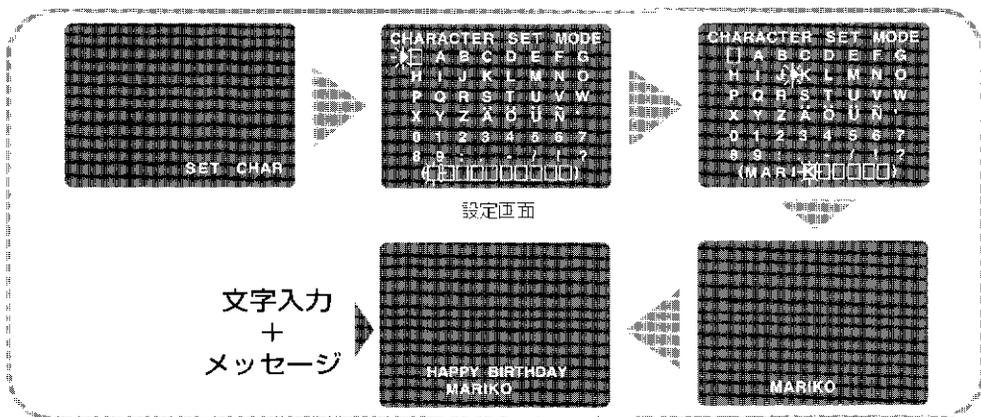
- 録画中に表示を消したいときは表示切替ボタンを押ししてください。また、録画中に表示を入れたいときは撮影一時停止にしてから再度表示を選んでください。
- 表示を出さずに撮影したいときは、表示切替ボタンで「表示なし」を選んで下さい。
- シーンダイアルでロックを選ぶと、選んでいる表示はオートデートモードになります。



オートデート、オートデートタイトラーを使うとき
「日付が変わったとき」「カセットテープを入れ替えたとき」「表示切替ボタンで表示を変えて再びオートデートタイトラー（またはオートデート）を選んだとき」に、日付を撮影開始から約5秒間だけ自動的に記録します。約5秒たつと表示は消えます。
●オートデートのときは録画スタート後、約5秒間日付を表示します。
●オートデートタイトラーのときは画面中央に日付を大きく表示し、5秒間の記録が終わると表示が消えます。
約5秒たつ前に、表示を消したいときは表示切替ボタンを押ししてください。

オンスクリーンモードでは

ムービーとモニターをつないで撮影一時停止（39ページ）またはカメラリハーサル状態（25ページ）にしたときファインダー内に表示される情報をモニター上で見ることができます。



文字入力

お好みの文字を映像に入力することができます。日時を合わせてから、文字入力をおこなってください（19 ページ）

表示切替ボタンを押し、**文字入力**を選ぶ

- "SET CHAR"が表示されます。
- あらかじめ入力してある場合はその文字が表示されます。

設定ボタンを押し

- 設定画面が表示されます。

選択ボタンを押し、**希望の文字**を選ぶ

- ▶を希望の文字に合わせます。

設定ボタンを押し

- 次の文字を選べます。

表示切替ボタンを繰り返して設定します

- 表示を消したい時は、表示切替ボタンを押し



お好み文字を入れることができます。

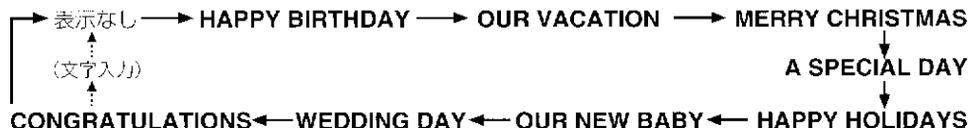
文字は10文字まで英字で入れることができます。また、10字以内の文字を入りたい場合や、文字と文字の間にスペースを入りたい場合は □ を選んでください。

メッセージ

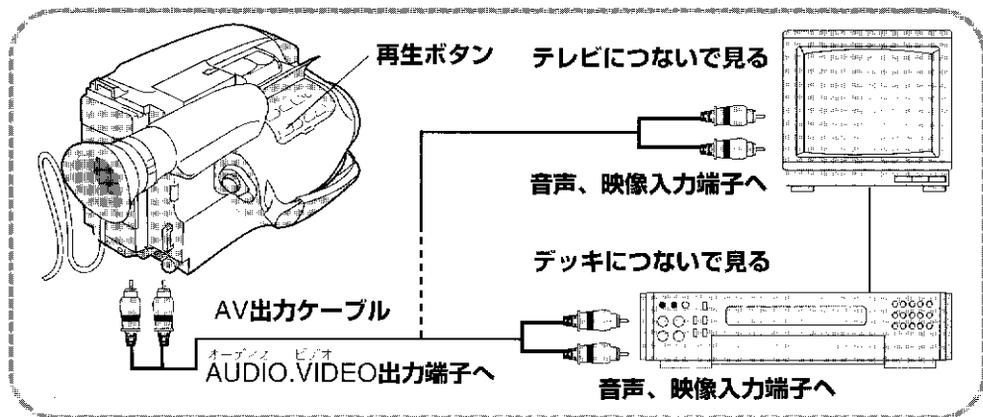
あらかじめ決まっているメッセージの中からお好みの選ぶことができます。

電源スイッチを「撮影」にし、メッセージボタンを押し

- 押しごとに切り替わります。
- 日時表示、文字入力と一緒に表示することができます。



ビデオデッキ／テレビにつなぐ



再生や編集、またムービーをカメラとして使うときの接続のしかたです。ご家庭のテレビやデッキによって仕様が変わりますので、その取扱説明書もお読みください。電源は付属のACパワーアダプター（AA-V11）を使うことをおすすめします。

デッキにつないで見る

ムービーとデッキをつなぐ

デッキの入力を外部入力モードにする

- ムービーとデッキ、テレビの電源を入れ、テレビはいつもビデオを見ているようにスイッチを設定する



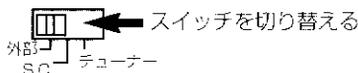
VHS-Cテープをデッキで見るには
カセットアダプターC-P6(別売)を使えば、接続なしでそのままデッキで見ることができます。



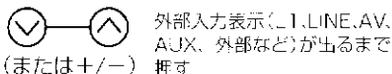
外部入力にするには

デッキによって違いますので、お使いになるデッキの取扱説明書と下の例を見ながらおこなってください。(ムービーからの映像と音声が出たら終了です。)

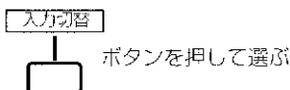
例1 スライドスイッチで切り替えるタイプ



例2 チャンネルボタンで切り替えるタイプ



例3 入力切り替えボタンのタイプ



ムービーをカメラとして、デッキで記録する

1 ムービーはカメラリハーサル状態にする



カメラリハーサル

テープを入れず電源スイッチ「撮影側」で、カメラの映像を見ることです。

この状態にしておくと、外部入力になったときテレビにムービーからの映像と音声が出るのですぐわかります。

2 デッキに記録するテープを入れ、録画スタート/ストップの操作をする

- ピクチャーのデッキでリモートポーズ端子があるときは編集ケーブルでムービーのEDIT端子とつないでください。ムービーのスタート/ストップボタンでデッキの録画スタート/ストップを操作できます。

テレビにつないで見る

テレビに映像/音声入力端子が有るか、無いかが確かめてください。有るときは、付属のAV出力ケーブルを使って見ることができます。

1 ムービーとテレビをつなぎ、電源を入れる



テレビに映像/音声入力端子が無い

RFユニット RF-V5(別売)をお使いください。

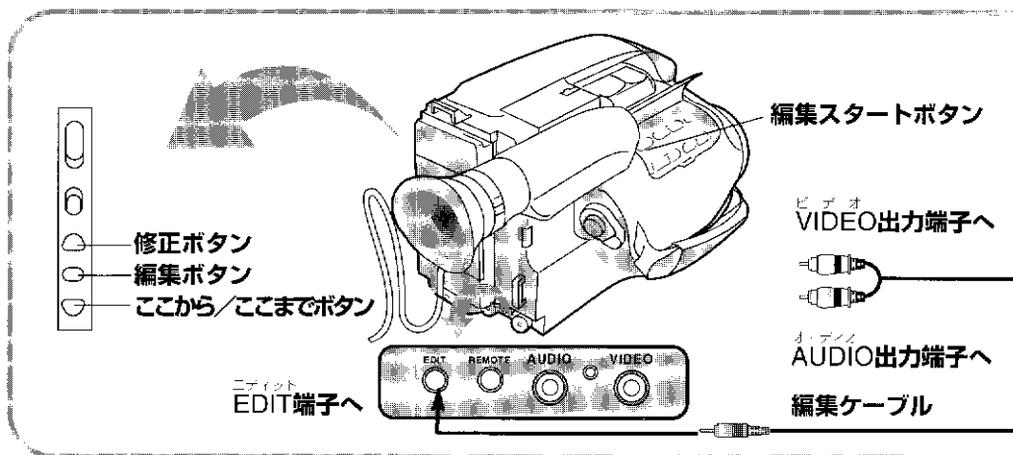
RF-V5 と、AUDIO オーディオ 端子、VIDEO ビデオ 端子、RF DC RF DC OUT端子と接続してください。

詳しくはRFユニットの取扱説明書をご覧ください。

2 テレビの入力をムービーにつないだ端子に切り替える

(例 ビデオ2、ビデオ3、ムービーなど)

編集する



同じテープをもう1本作る

撮影したテープを見ながら、もう1本同じテープを作れます。

1 ムービーとデッキの接続と、外部入力の切り替えをする (24ページ)

- 撮影したテープをムービーに、録画するテープ (ツメ付きテープ) をデッキに入れておいてください。

2 ムービーを再生し、編集を終わらせたい場面で一時停止ボタンを押す

3 カウンターをMO:00:00にし、巻戻しボタンを押す

- 編集を始めるところまでテープを巻き戻し、一時停止ボタンを押してください。

4 編集スタートボタンを押す

- ムービーと録画側ビデオが自動的にスタートし、ダビングが始まります。
- カウンターが0:00:00の位置になるとムービーは一時停止、デッキは録画一時停止になります。
- カウンターが0:00:00になる前に録画を中断したいときは、一時停止ボタンを押します。
- 編集を終了するときは、停止ボタンを押します。

編集点がズれる

カウンター表示は大まかな目安なので、編集点がずれることがあります。故障ではありません。

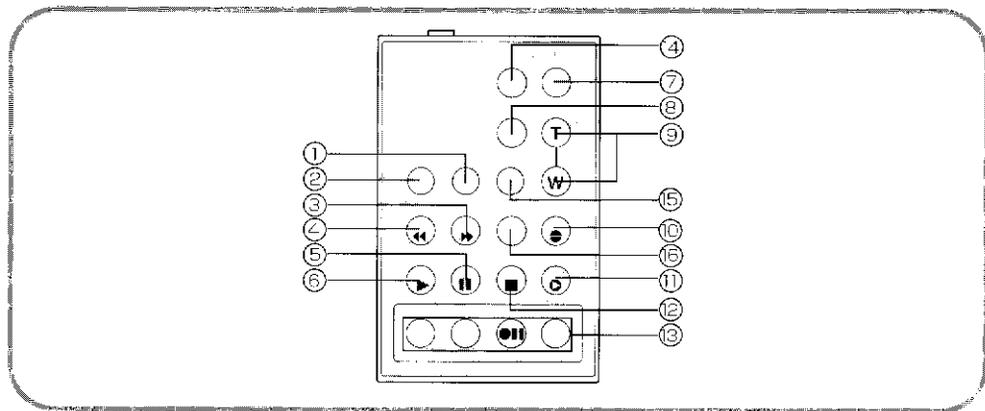
ピクチャー以外のデッキで編集する

デッキを録画一時停止にしてムービーを再生し、ダビングしたいところでデッキの録画をスタートさせます。編集を終えるには停止ボタンを押してください。

- ダビング中、カットしたいところは録画一時停止にしてください。



別売リモコンRM-V706を使って



リモコン RM-V706 (別売) を使えば、ムービー本体に付いていない機能を使うことができます。くわしくはリモコンの取扱説明書もご覧ください。

リモコンのボタン (名称)	各ボタンの働き	
	ムービーの電源スイッチが電源オフのとき	ムービーの電源スイッチが再生のとき
① セルフタイマー/インターバル	インターバル (セルフタイマー/タイムプラス)	——
② アニメ録画タイム	録画タイム (アニメ/タイムプラス)	——
③ 早送り/リテイク	リテイク (F) 正転	早送り
④ 巻き戻し/リテイク	リテイク (R) 逆転	巻き戻し
⑤ 一時停止	——	一時停止
⑥ 再生	——	再生/アフレコスタート
⑦ スタート/ストップ	ムービーのスタート/ストップと同じ働きをします	インサート時のみスタート/ストップ
⑧ VISS	インデックスコード (書き込み)	——
⑨ ズーム	遅いスピードのズーム	——
⑩ アフレコ	——	アフレコ (一時停止) と同時押し時
⑪ インサート	——	インサート (一時停止) と同時押し時
⑫ 停止	——	停止
⑬ 自動編集	——	自動編集する時に使います

●⑭記念写真ボタンは使用できません。⑮設定ボタンはデッキのメーカー設定、⑯ビデオボタンはデッキを操作する時に使います。

セルフタイマー

15秒だけでなく30秒/1分/5分のセルフタイマーもできます。

●本体のシーンダイヤルを①にすると、15S (15秒) のセルフタイマーが設定されます。



アニメ撮影

人形など、本来動かないものを動かして撮影し再生すると、あたかも動いているように見えます。撮影時間は1/4S (1/4秒)、1/2S (1/2秒)、1S (1秒) の中から選べます。(SPモード時のみです)



タイムラプス撮影

アニメ撮影とセルフタイマー撮影を合わせて使うと、一定間隔で録画スタート/ストップを繰り返します。交差点での人の流れなどを撮ると、映画のような凝った映像を撮ることができます（SPモード時のみです）。

●タイムラプス撮影時、フェードイン/フェードアウトは出来ません。



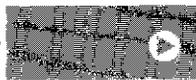
インサート編集

録画済みテープにタイトルを入れたり、映像を入れ替えることができます。インサート編集点でズレることがありますが、故障ではありません。

テープを再生し、編集を終わらせる位置で一時停止を押してから、カウンター値を"MO:00:00"にし、編集を始める位置で、一時停止を押す。

インサートボタンを押したまま一時停止を押し、スタート/ストップボタンを押す。

●"MO:00:00"の位置になると自動的に編集が終わり、再生状態になります。



アフレコ編集

録画済みテープの音声をマイクを使って入れ替えることができます。

テープを再生し、編集を終わらせる位置で一時停止を押してから、カウンター値を"MO:00:00"にし、編集を始める位置で、一時停止ボタンを押す。アフレコボタンを押したまま一時停止を押し、再生ボタンを押す。

●"MO:00:00"の位置になると自動的に編集が終わり、再生状態になります。



インサート/アフレコできない

消去防止用ツメが折れているテープはツメの部分にセロハンテープを貼ってください。
一時停止状態では約5分間で電源が切れます。再度電源を入れてセットしてください。



テレビにノイズが出る

アフレコやインサートの時に、テレビが「ピー」「ウワ〜ン」というノイズを出すときは、マイクをテレビからはなすが、テレビの音量をさげてください。

録画時間（SP/EP）の変更

インサートの途中で、録画モード（SP/EP）を変えると、場面が乱れますのでご注意ください。また、インサートするときの録画モードは、SP/EPスイッチの位置に関係なく、テープに録画されていたモードになります。

テープの音声が消えてしまった

アフレコで音声を記録すると、テープに録音されていた音声が消去されます。

自動編集

ビクターリモートボース端子無しデッキまたは他社デッキでもう一本同じテープを作ったり、好きな場面だけを集めてオリジナルテープを作ることができます。27ページの「編集する」と同じ手順でおこなってください。

保証とアフターサービスについて

保証書 別途添付しています。

お買い上げ販売店でお渡しします。所定事項の記入や記載内容の確認をし、大切に保管してください。製造番号は品質管理上重要です。ムービーの製造番号と保証書に記載されているものと同じか確認ください。

保証期間

お買い上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理致します。

アフターサービス

保証期間の過ぎた修理は

お買い上げ販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理致します。

補修用性能部品の保有期間について

当社は、このムービーの補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年保有しています。

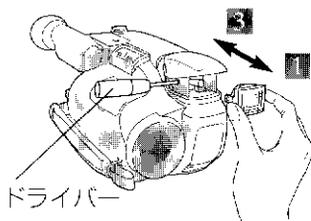
故障かなと思ったときは

④ページをよくお読みのうえ、故障かどうかお調べください。

ムービーが異常なときは

異常な音や煙が出るとき、また画が出なくなったときは、接続機器の電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ販売店またはお近くのビクターサービス窓口にご連絡ください。

ランプの交換について

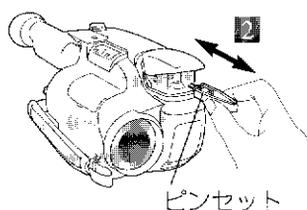


① ドライバーでネジをはずし、ムービーからランプカバーをはずす

② 専用のピンセットでランプを取りはずし、新しいランプを取り付ける

●専用ピンセットは新しいランプに添付されています

③ ランプカバーを取り付け、ねじをしめる



- ・ランプの交換は、お買い上げ販売店もしくはお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。
- ・交換ランプは必ずハロゲンランプ (PEDP0152) をお使いください。(お近くの販売店もしくはお近くのビクターサービス窓口で、お求めください。)
- ・ランプが汚れると、煙がでたり、寿命が短くなったり、照度の低下をまねきます。万一さわったときは乾いた布で拭いてください。
- ・ランプが熱いときに交換すると、けがや事故のもとになります。ランプ交換は必ず電源を切り、ランプが冷えてからおこなってください。(電源を切ってから約30分以降が目安です。)

故障かな？と思ったら

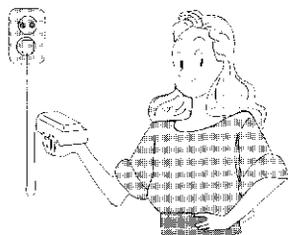
症 状	処 置	参 照 ページ
電源が入らない	●電源ユニットは正しく接続されていますか。 ●バッテリーパックは充電されていますか。	5
録画ができない	●ツメなしカセットテープで撮影していませんか。 ●電源スイッチが‘再生’になっていませんか。 ■電源スイッチ‘撮影’にしてから スタート/ストップボタンを押してください。	10 11
いろいろな機能が使えない	●シーンダイヤルがロックになっていませんか。 ■シーンダイヤルをロック以外の位置にしてください。	11
自動でピントが合わない	●フォーカスが‘手動’になっていませんか。 ●暗い所や明暗差のないものを撮影しませんでしたか。 ●ファインダーのピントを合わせましたか。 ●レンズにゴミや水滴などが付いていませんか。	20 7
被写体に強い光が入ると縦に白い線が出る	■大きなコントラストの違いによる現象で、故障ではありません。	—
カラーファインダー内の映像の色が赤っぽい(GR-AX80)	■寒い所ではカラーファインダーの特性で赤っぽくみえます。録画される色が多少異なりますが故障ではありません。	—
画像が出ない	■電源をもう一度入れなおしてください。	11
再生、巻戻し、早送りができない	●電源スイッチが‘撮影’側になっていませんか。 ●テープが早送り、巻戻しを完了していませんか。	14
早送り、巻戻し中に途中でテープが止まる	●カウンターメモリーがされていませんか。	15
画面にノイズがでる	■トラッキング調節をしてください。 ■ビデオヘッドが汚れ、または摩耗しています。 クリーニングカセット(TCC-2)で清掃してください。	15
テープは回っているが再生しない	●AV端子付きのテレビの場合は、テレビの入力を‘ビデオ’にしてください。 (RF-V5を使用している場合は、テレビのチャンネルをビデオ専用チャンネル1か2にする。)	24 25
ファインダー内に見れないマークが出た	■ファインダー表示の一覧をご覧ください。	39
画面上にひし型や三角形の光がうつる	●太陽が正面や斜め上前方にありませんか。 ■太陽光がレンズに入らないよう、ムービーの向きや、ズームを少しうごかしたり、レンズの上を手をかざすなどしてみてください。	—

海外で使う

このムービーは外国でもお使いになれます

ACアダプターAA-V11は海外でもバッテリーの充電ができます。ただし、コンセントの形状は国によって異なるため訪問国のコンセントに合った変換プラグ（空港売店で販売）が必要です。くわしくはビクターサービス窓口にご相談ください。

コンセントの形状					
使用する変換プラグ	ACアダプターのプラグを直接、差し込みます。 主に北米、南米など		主にオーストラリア	主にヨーロッパ	



現地のテレビで見るとは

NTSC方式の映像、音声入力端子付きテレビが必要です。

再生できるテープは

日本と同じNTSC方式で撮影したものです。



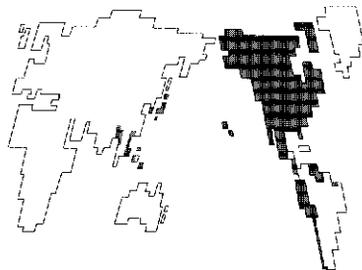
海外で万一故障した場合は

持ち帰った後、お買い上げ販売店にご相談ください。

(外国でのアフターサービスについてはご容赦ください。)

日本と同じNTSC方式の国です

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアム
- 韓国
- チリ
- ドミニカ
- トリニダード・トバゴ
- ニカラグア
- バミューダ
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ポリビア
- グアテマラ
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- ハイチ
- パナマ
- バハマ
- バルバドス
- ミャンマー
- ベトナム
- フィリピン
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- メキシコ
- 台湾



索引

五十音順

ア

アニメ撮影 28
アフレコ編集 29
インサート編集 29
オートデート 22
オートデートタイトラー 22
オンスクリーンモード 22

カ

海外で使う 32
カウンター 15
カセットアダプター 24
カーバッテリーチャージャー 5
カメラリハーサル 25
クイックレビュー 12
グリップバンド 7
誤消去防止 10

サ

撮影一時停止 39
撮影の確認 12
自動編集 27
地面撮り防止 13
充電 5
ショルダーストラップ 37
シネマモード 19
白バランス 21
スウィングモード 19
スポーツモード 19
接続 24
セピアモード 19
セルフタイマー撮影 19 28

タ

タイムラプス撮影 29
ダビング 26
つゆつき 39
テープについて 10
テープを入れる 6
テレビで見る 24 25

電源 (コンセントで) 5
(車で) 5
(バッテリー) 5
撮る姿勢 10

ナ

日時合わせ 9
ノイズが出たら 15

ハ

バッテリー 5
バッテリーアラーム 39
ピント合わせ 20
ファインダー内表示 39 40
ファインダーのピント合わせ 7
ファンタジーモード 19
フェードイン/アウト 18
ヘッド汚れ (添付の大切な記録のために)
編集 26
ポートレート 18

マ

メッセージ 23
文字入力 23

ヤ

夜景モード 19

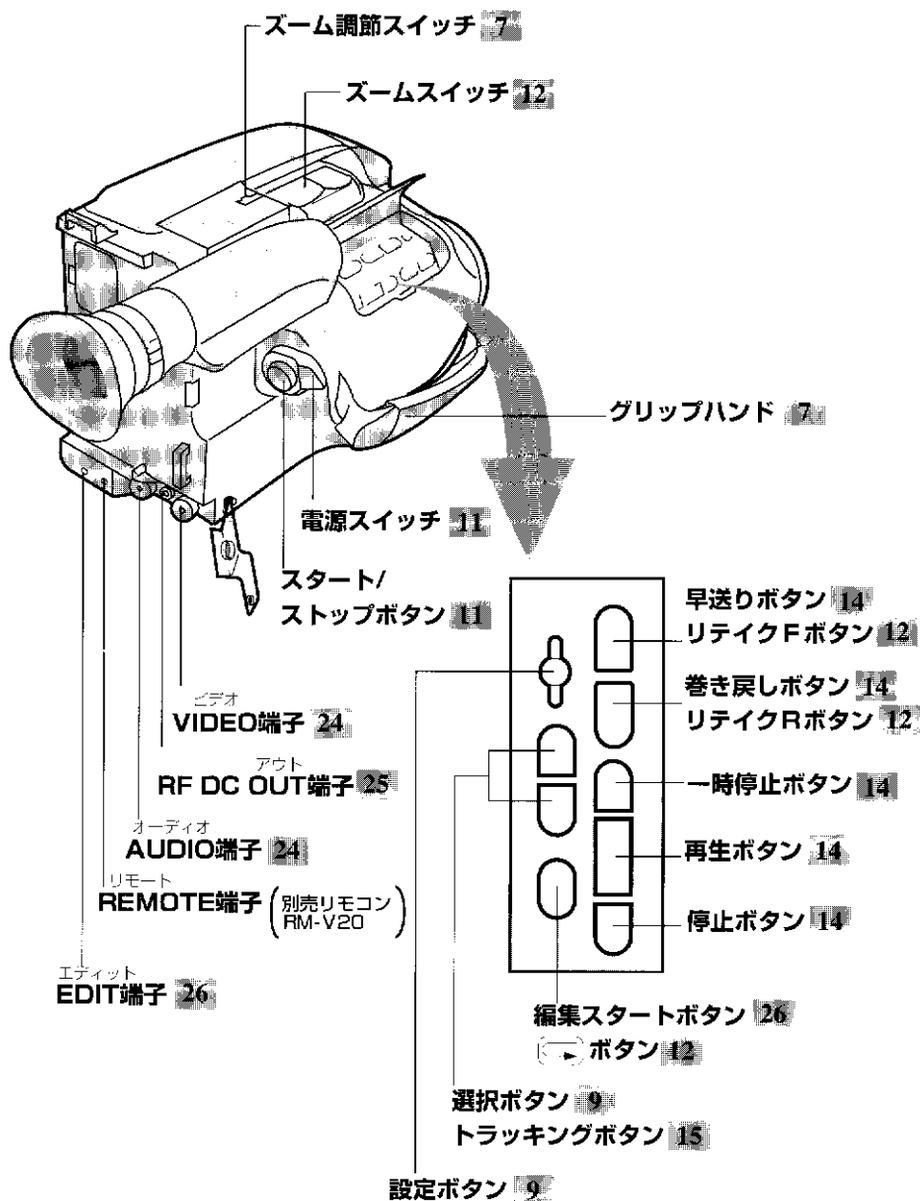
ラ

ライティング 13
リテイク 12
リチウム電池 8
リモコン 28
ロック 14

アクセサリー

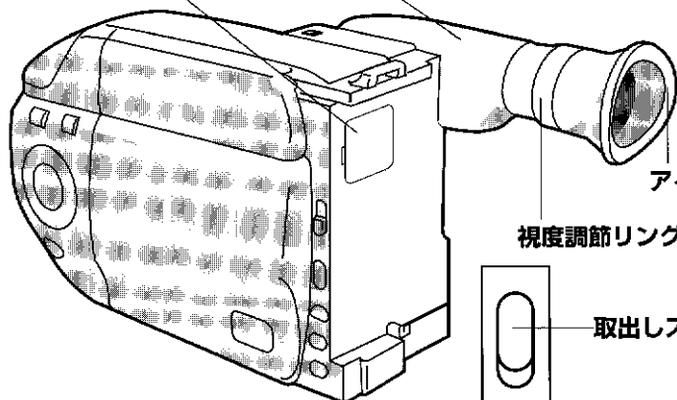
ACアダプター 5
RFユニット (別売) 25
SP / EPモード 16
VISS書き込み 11

各部のなまえ



リチウム(時計用)電池取り付け部 8

ファインダー 7 (GR-AX60は白黒ファインダー
GR-AX80はカラーファインダー)



アイカップ 35

視度調節リング 7

取出しスイッチ 6

地面撮り防止スイッチ 13

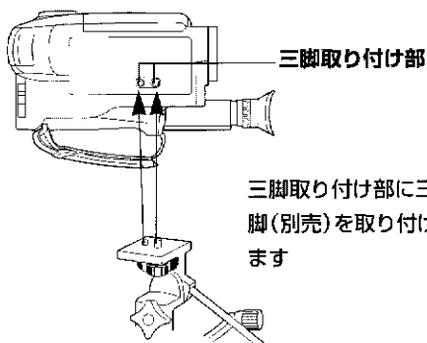
表示切替ボタン 22
修正ボタン 27

シネマボタン 19
編集ボタン 26

フェーダーボタン 18
ここから/ここまでボタン 27



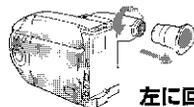
三脚(別売)を付ける



三脚取り付け部に三脚(別売)を取り付けます

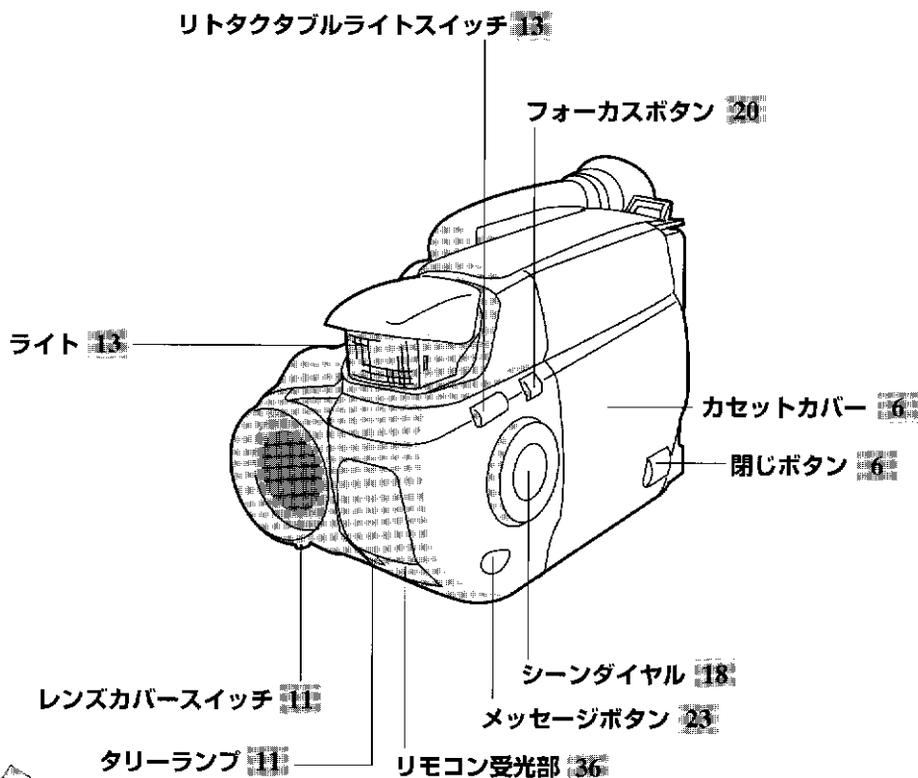


アイカップはアイカップやファインダー画面はカメラ用ブロアー(カメラ店で市販のもの)などで清掃してください。



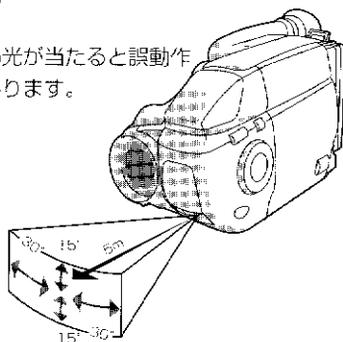
左に回し引く。

各部のなまえ (つづき)



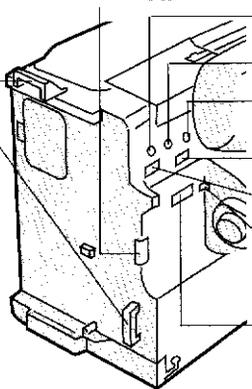
別売リモコン使用可能範囲

直射日光や照明器具の強い光が当たると誤動作したり動作しないことがあります。



バッテリー取りはずしスイッチ 5

ショルダーストラップ
取り付け部 37



カウンターメモリー 15

カウンターリセットボタン 15

白バランスボタン 21

SP/EPスイッチ 6

テープスイッチ 6

電源ランプ 11

ライトオート/入スイッチ 13

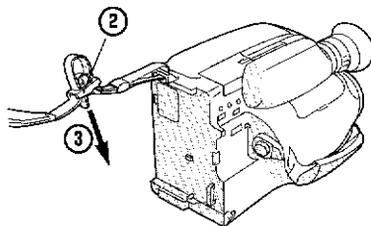
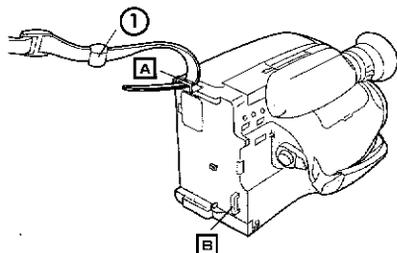
ショルダーストラップの取り付け方

ストラップをムービーの取り付け部 **A** に通し、ストッパー ① にも通す

取り付け部 **B** にも **A** と **B** の手順でストラップを通す

ストラップを止具 ② に通す

●ストラップを矢印方向 ③ に引っ張り、確実に取り付けられたか確認してください。



主な仕様

ビデオムービー

電源	: DC6V
消費電力	: 9.5W (ライト点灯時)、 6.5W (ライト消灯時)
信号方式	: NTSC日米標準信号
録画方式	: [VHS] 規格
使用テープ	: VHSII マークのスーパーカセットテープ
テープ速度 (SP)	: 33.4mm/秒
(EP)	: 11.1mm/秒
録画時間 (SP)	: 約30分 (TC-30使用時)
(EP)	: 約90分 (TC-30使用時)
早送り・巻き戻し時間	: 約8分(高速時約3分)(TC-30使用時)
撮像素子	: 1/3インチCCD
レンズ	: 12倍ズーム f=5.5~66mm F1.8 オートフォーカス付/ フィルター径43φ
ファインダー	: GR-AX60 0.6型白黒ファインダー GR-AX80 0.7型カラーファインダー
最低照度	: 5LUX
白バランス調整	: 自動/手動
アイリス	: 自動
画像出力	: 1Vp-p(75Ω不平衡)
音声出力	: -6dBs(Low)
許容動作温度/相対湿度	: 0°C~+40°C/35%~80%
許容保存温度	: -20°C~+50°C
外形寸法	: (幅)115×(高さ)118×(奥行き) 182mm
質量	: 撮影時質量 950g (バッテリーBN-V12 カセットテープTC-30他含む) 本体質量約 730g
付属品	: ACパワーアダプター (AA-V11)×1 AV出力ケーブル×1 編集ケーブル×1 リチウム電池(CR2025)×1 ショルダーストラップ×1 バッテリー(BN-V12)×1

バッテリーについて

充電/リフレッシュ時間

バッテリーパック	充電時間	リフレッシュ時間
BN-V12	約1時間10分	約3時間30分
BN-V14	約1時間20分	約4時間30分
BN-V22	約2時間10分	約7時間
BN-V50	約2時間50分	約8時間30分
BN-V60	約2時間10分	約7時間
BN-V65	約2時間10分	約7時間

連続撮影時間

バッテリーパック	ライト消灯時	ライト点灯時
BN-V12	約 55分	約 30分
BN-V14	約 65分	約 40分
BN-V22	約110分	約 70分
BN-V50	約140分	約 85分
BN-V60	約110分	約 70分
BN-V65	約110分	約 70分



使用するバッテリーは6Vです。
BN-V12、V14、V22、V60、V65はニカド電池、BN-V50
はニッケル水素電池です。

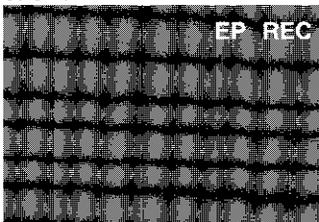
ポルト

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

ファインダーの表示

撮影中などの表示

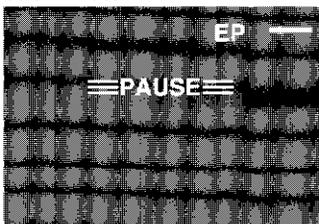
撮影中



SP：高画質モードで撮影

EP：長時間モードで撮影したとき表示します。

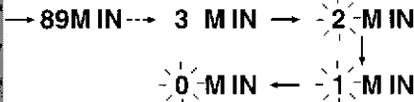
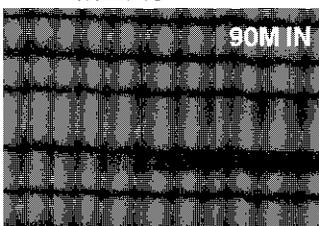
撮影一時停止



撮影一時停止とは

電源スイッチを「撮影」にしてツメつき（スライド式のツメの場合はON）テープを入れた撮影準備状態のことです。

テープ残量表示



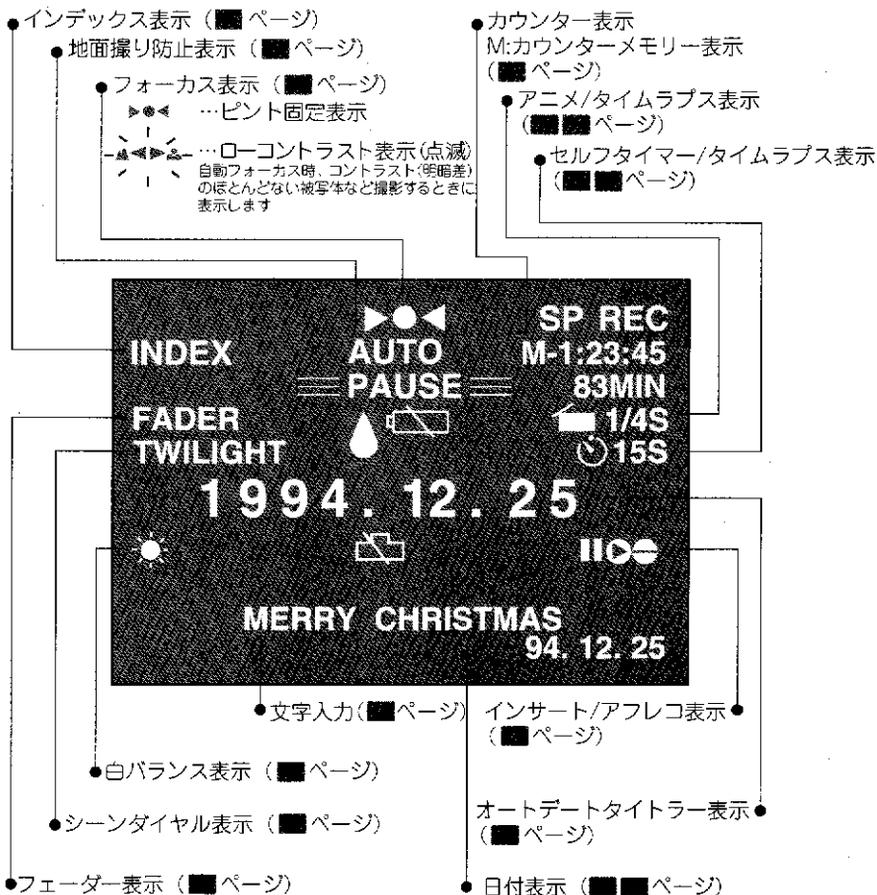
撮影中、残り時間の目安を表示します。

●30分テープをEPモードで撮影した場合です。

警告表示

表示	表示名と説明	表示	表示名と説明
	リチウム電池(時計用)表示 電池が入っていないか容量が少なくなっています。		テープ表示 テープが入っていないか、ツメなしテープで撮影ができません。
	バッテリーアラーム表示 バッテリーパックの充電容量が少なくなっています。		テープおわり表示 録画中テープがおわりと表示します。
	つゆつき (添付の大切な記録のためにをご覧ください) つゆつきが発生しています。		異常警告表示 ビクターサービス窓口へ

ファインダーの表示つづき



お客様ご相談センター

東京… ☎ (03) 5684-9311 (代表)

〒113 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大阪… ☎ (06) 765-4161 (代表)

〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

Victor JVC
日本ビクター株式会社

ビデオ事業部